

岳南會ニュース

第29号

発行
平成31年1月1日
長野県野沢北高等学校
TEL 0267 (62) 0020
FAX 0267 (63) 5290
岳南會
TEL 080-6936-1083
印刷 (株)佐久印刷所



「浅間夕照」20号 萩原孝一 (22回)



岳南會会長
高見澤俊雄
(51回)

〈一粒の麦〉の行く方

頌春
母校創立以来百十八年、平成三十一年の新春を寿ぎながら、会員諸氏の日頃のご支援ご協力に感謝申し上げます。



学校長
田澤直人

感謝と御礼

謹賀新年

日ごろから、岳南會の皆様には、物心両面にわたり、母校をご支援していただき、大変ありがたく思っております。特に、節目の記念式典を十一月に開催されました六四回卒業生、これから二月に行われます八四回卒業生の皆様、厚く御礼申し上げます。また、昨年度の『岳南會ニュース』第二八号にも書かせていただきましたが、「ふるさと納税（ふるさと信州寄付金）」を通じて、学校に、合計で十数万円の寄付を賜りました。図書館の書籍購入費に使わせていただきます。こちらもありがとうございます。

今年には平成からの改元の年とやら、少子化による県立高校第二期再編計画始動の年と相俟って、(母校岳南の在るべき姿)の具現化に向け、会員諸兄姉の御卓見も拝聴しながら、着実な歩を進めたいと思っております。

ここまですべて一両年、本会は、県教委が公表した「第二期再編計画(基本構想)&(実施計画)」を検討し、基本的対応方針として、「当面、岳南会中高一貫教育研究委員会の検討テーマに、第二期再編対応を入れ、母校の在るべき理想の姿を構築し、(新たな学びの場)導入も視野に、母校将来構想委員会と連携、対応を図る」ことを諒承しました。

顧みれば、母校創立百二十周年に垂んとする時期にあたり、その存立に関わる事態に直面、唐突ながら、ヘブライズムの歴史の節目を語った一つの挿話を思い起こします。それは、フランスの小説家アンドレ・

とうございました。

さて、昨年九月に長野県教育委員会が決定しました、「高校改革」夢に挑戦する学び「実施方針」は、「新たな学びの推進」と、「高校の再編・整備計画」の二本柱で方針を示しております。

佐久地方の再編計画の方向性は、「小諸市と佐久市に適正数を考慮しながら規模の大きさを活かした都市部存立校を配置する」と、この「実施方針」には書かれております。これは、現在佐久市内にあります都市部存立普通校と位置付けられます。野沢北高校・野沢南高校・岩村田高校の三校を二校に再編整備する方向性を示しており、この地区の急激な少子化を考えました時には、避けられない状況と推察します。

今後、「高校の将来像を考える地域の協議会」も立ち上がり、その会の中でも議論がなされることと思

ジードが自らの告白的伝記の表題に選んだ「一粒の麦もし死なずば」の言葉で語られた事象で、救世主の犠牲と復活を逆説的に表象したものでしたが、この場合の「一粒の麦」は、ジードにとって何であつたか、と同時に、(母校岳南の在るべき姿)の(エースト)(「気風・精神・特質」)は何か、と重ねて、自問しています。

ここで、今一度、「一粒の麦」の原典『新約聖書』(ヨハネ福音書)に拠りますと、「一粒の麦、地に落ちて死なずば、ただ一つにて在らん。もし死なば、多くの実を結ぶべし」とあります。私達は、ここまですべて十年近く互り、母校岳南が築き上げてきた存立の根元的エーストを再確認して生かし、少子化の中で、蘇生か、再生か、新生か、どの道にせよ、憧憬と矜持の持てる場を切り拓けば、必ずや燦然たる未来あり、と信じています。

ますが、佐久地域のこれからの高校生のために、何がベターな方向なのかを、是非、岳南會の皆様にもお考えいただきたいと存じます。

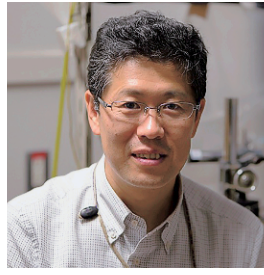
なお、学校の様子は、本校ウェブサイトに、「長野県野沢北高等学校校長日記」を掲載しまして、日々の生徒や学校の様子や、私の教育に対する考え方などを執筆して、「学校の見える化」に努めております。お時間のある時にお読みいただき、ご批評賜れば幸いです。

最後に、私もこの三月で定年退職を迎えます。教員生活最後の二年間を、歴史と伝統の息づく野沢北高等学校で勤務することができ、大変うれしく思うと同時に、岳南會の皆様から頂戴しました様々なご厚情に感謝申し上げます。今後もし引き続き、学校に思っています。今後もし支援助並びにご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

大学につながる

高校での学び

群馬大学大学院理工学部
准教授 原野 安土(78回)



母校からPTA総会の講演依頼がありました。私には荷が重く、引き受けるかどうか迷いました。しかし、大学では不登校や中退する学生が急増し、日頃より彼らを指導する中で、多感な高校時代をどのように過ごしたかがその後の大学生活に大きな影響を与えていると感じており、野沢北高の後輩に有意義で楽しい大学生活を過ごしてほしいと思ひ、引き受けることとしました。今回の講演会を通じて何か一つでも高校生活のヒントになれば幸いです。

大気中の塵と地球温暖化

今回の講演では、まず私が研究している地球温暖化の問題を取り上げてみました。二酸化炭素の増加は地球温暖化と言う図式が当たり前のよう信じてらありますが、地球温暖化の科学的な原因はまだわからないことがたくさんあります。今回取り上げた空気中の小さな塵もその大きな要因です。塵は水蒸気を取り込んで雲になります。この雲は太陽光を反射して地球を冷やしますが、その雲の生成の仕組みについてはほとんど解明されていません。このように、地球温暖化の科学的根拠や対策については多くの課題が残されているのが実状です。

情報の扱い方

現代の情報化社会では、じっくりと考える暇もないほど情報の波が次々と押し寄せてきます。無意識のうちに情報を鵜呑みにし、考えることを停止してしまいがちです。日々の学習も同じで、今の教科書や参考書はとても親切に書かれているので、考えないで憶えてしまいます。暗記は試験の点数を稼ぐには効率がよいかもしれませんが、大学に入ると途端にその効力を失います。特に研究を行うようになると、「なぜ」を考えることが重要になります。興味のあることについてはknow howではなくknow whyを大切にしてください。

リアルで豊かな人間関係を築いて下さい。これは大学に入学してからの武器になると思います。苦手はよいが嫌いになるな。私はなす料理が苦手でしたが、ある時からなすが好きになりました。結婚式の司会は大学時代に一番苦手だった学生にお願いしました。大喧嘩した教授が私を大学教員として採用してくれました。このように、苦手は表面的なもので、その皮を剥ぐ努力をすれば大好きに変わること多いと感じます。授業も同じで、実は苦手な科目はすでに自分ができない部分が見えているわけで、その対策さえすればすぐに得意になります。すべての授業科目を好きになるのは無理ですが、せめて嫌いにならずに苦手で止めて下さい。大学で留年する学生の多くは高校で嫌いな科目をつくってしまっただけです。苦手には柔軟性がありますが、嫌いはすべてを拒絶してしまします。自分の将来の可能性を潰さないためにも、学生時代は何事も嫌いにならずにチャレンジしてください。

やりたいことがなくても大丈夫

医師は特殊な職業で、大学進学時に職種を決めないといけません。そのため先生は高校時代に進路を決めると言うさく言うのです。しかし、その他の職業は大学進学時に決めなくても大丈夫です。もつとおおらかに進路について考えてもよいと思います。それよりも高校時代に大切なことは「やるべきこと」に一生懸命取り組んで「できること」を増やすことです。「できること」が増えれば「やりたいこと」の幅が広がります。学生は「やりたいこと」が見えなくても「やるべきこと」はわかっているはず。その「やるべきこと」ができない人は、結局「やりたいこと」を実現できないと思います。

ここで注意したいのは、「やりたいこと」が決まっている人です。よいことのように思われますが、高校で「やりたいこと」が決まっていた学生のなかには大学で中退する者が意外に多くみられます。「やりたいこと」「好きなこと」だけをやればよいと勘違いし、大学で「好きなこと」ができないと失望してしまうからです。「好きなこと」だけできる場所なんてどこにもありません。「やりたいこと」は「やるべきこと」のきつかけを与えてくれるだけで、大切なことは「できること」の幅を広げることです。無理に「やりたいこと」を決めて自分の可能性を潰さないようにしてください。そして、大学に入学したら「やるべきこと」・「やりたいこと」・「できること」をバランスよく成長させてください。

苦しい時には…
大学時代には苦しいこともあるかもしれませんが。そんな時には佐久の雄大な自然の中に身を置いてみてください。大自然が必ず心を癒してくれます。それでもダメな場合は両親に弱音を吐きましょう。親は文句を言うかもしれませんが、それでも皆さんの一生の応援団です。

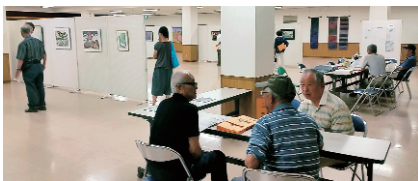
最後に

自分の高校時代を振り返ってみると、友人・部活・恋愛・受験すべてがうまくいかず、苦しく、悔しく、情けないことばかりでした。しかし、自分にとって高校時代は人生の中で一番の宝物です。それは、後にも先にもあれほど純粋に一生懸命頑張っていた自分はいないから、その時の挫折や経験が今の自分の生きる基盤になっているからです。皆さんも学生生活を一生懸命過ごしてみてください。失敗しても成功しても必ずその後の人生の糧になると思います。

岳澄展開催される

第二二回岳澄展が、平成三〇年八月一日〜一六日にかけて野沢会館多目的ホールで開催されました。

岳澄展は昭和二七年にスタートした野沢北高同窓生と在校生による美術展で、五三名による九七作品が展示され、期間中五百名程が鑑賞に訪れました。



支部だより

東京支部

東京岳南会のルーツを辿ると、神津港人氏（二回卒）の日記に「明治四〇年一月二十七日野沢中学校卒業生ヲ以テ組織セル岳南会東京支部発会式ヲ：開催云々」と記されています。戦後に井出一太郎先生が代議士になられてから有志の集いが七回ほど開催され、昭和四四年の第八回総会で会則・組織が整って現在まで継続。本年六月九日に五八回目の総会を迎えました。歴代の会長は、初代井出一太郎先生（二四回卒）から水間正冬氏（一九回・平成元年）、佐々木保行氏（四六回・一四年）、市川源太郎氏（四六回・一六年）、岩間辰志氏（五四回・二年）を経て、現在の井出亜夫氏（五八回・二五年）で六代目となります。

総会は、当初毎年六月初旬の平日の夜に開催されていましたが、平成一六年より土曜日昼間に変更しました。出席者は二〇〇名前後で推移していましたが、近年は一〇〇名前後で、会員多数の参加が望まれます。岳南会会長・母校校長・本部事務局の先生に来賓としてご出席いただき、僚友校からは野沢南高校にご参加いただいています。総会の前には講演も行われ、井出孫六氏（四七回・直木賞作家）や井出博正氏（五六回・作詞家）ではなく氏）などの講師の方々に

お話しいただきましたが、平成二一年頃からは別途講演会を毎年開催することとなりました。一昨年は油井直子医師（八一

回・リオパラリンピック派遣医師団）、昨年は神津忠彦先生（五二回・東京女子医大名誉教授）に「藤村と祖父神津猛『赤壁』の家に残る交友の軌跡」と題してお話をいただきました。また、小池勇助軍医（三三回）と沖繩戦下での積徳女学校学徒看護隊の生還ドキュメンタリー映画「ふじ学徒隊」の観賞会も行いました。今年度は、日本ペンクラブ会長吉岡忍氏（六三回）の講話を一月に行いました。懇親会では時の人にも登壇していただき、平成二二年には宇宙飛行士の油井亀美也氏（八四回）、昨年は東日本大震災の復興ドキュメンタリー映画『一陽来復』監督の尹美亜女士（八九回）に映画の紹介をしていただきました。余興として会員の協賛品でチャリティーオークションをして会の運営資金を調達したこともありましたが、近年はお楽しみ抽選会で会を盛り上げています。

会運営の要である事務局は、当初より市川源太郎幹事長と吉岡敏郎事務局長（三三回）両氏に担っていたのですが、昭和五六年頃に井出正好氏（五四回）と小生中澤が事務局に加わり、パソコンを導入して名簿の管理や会費納入、案内状の印刷等にあたり、業務の軽減を図りました。後にこの業務形態は井出氏から白鳥寿氏（七〇回）へ

継承され、現在も活用されています。平成一四年から白鳥伍朗幹事長（六二回）を中心に総会を運営し、二三年より小井戸大

介幹事長（六八回）、依田賢治副幹事長（七四回）、風祭（内藤）公子事務局員（七五回）など若い世代が参画。ホームページや電子メール等を通じて会の活動を情報発信しております。会員の交流の機会も増え、有志によるゴルフコンペや総会後の二次会・忘年会を依田英幸氏（七三回）が経営される表参道のレストランで開催し、同窓の絆を深めております。毎回四〇〜五〇名ほどの参加があります。現井出会長の下では会報も発行され、昨年三号を刊行し、メール登録会員に配信しています。予算上の理由で郵送はハガキの返信ある方に限定させていただきました。是非とも「東京岳南会」で検索してホームページをご覧ください。メールアドレスのご登録も併せてお願いします。本会則では、会員相互の親睦向上を図り、併せて母校の発展に協力することを目的にしております。事務局の方々は勤めの時間を割いて、会の発展と会員相互の有意義な交流を願って頑張っています。東京岳南会は、島崎藤村「千曲川のスケッチ」に描かれた郷里を共有する老若男女の交流の場であり、東京以外の地域の方の参加も大歓迎です。大いに交流の場を広げましょう。

平成三〇年九月
中澤英次（54回）

井出正一氏を偲んで

村山内閣の厚生大臣、新党さきがけ代表を歴任し、また日中友好に尽力した井出君が九月二日に急逝した。大いなる寂寥感に包まれている。

彼とは、岳南五四回生で、慶應義塾大学経済学部でも同窓であった。彼は大学院を終え昭和四十年に橋倉商店に入社し家業に励んだ。二十年後の昭和六一年、官房長官であった父一太郎氏の引退をうけ、衆議院選に初出馬で当選、政界に進出した。自由民主党時代には経済企画政務次官、細川連立内閣では「さきがけ日本新党」の政策幹事を務めた。平成六年六月〜八年八月には、村山内閣の厚生大臣として、被爆者援護法制定、阪神・淡路大震災の被災地復興、高齢者保健福祉サービスの達成目標を定めた（新ゴールドプラン）作成等に尽力した。平成八年八月に新党さきがけ代表に就任したが、平成十年六月に惜しまれつつ政界を引退した。

ここで、彼の（ひととなり）のあれこれを記してみたい。

新党さきがけの発起人で友人であった田中秀征氏は「井出君は皆が尊敬し頼りにする重石であった」と葬儀で語った。さきがけ同志全員が彼をリーダーと認めた人物だったと云える。井出君自身、「人を纏める地位に立つ人は、氣遣い、心配り、

思いやりの実践が必要だ。お世辞や諂いはしない、泰然自若として誠実、且つ全うさが肝要だ」と述べ、「井出家は代々地域の人々を大切に共々に生きることが家訓にしている」と述べた。また、信州についても、「信州は広くて大雪山国である。多くの山、峠、谷、川、平地がある。市町村は八十を超える。このような自然条件の中で、古来、歴史・経済・風俗・習慣・考え方は一様でなく異なって発展せざるを得なかった。この地理的・歴史的属性は卑下すべきものではなく、むしろ誇りを持って良い。県歌『信濃の国』は宝である」と披瀝していた。

彼は、高校時代、出澤萬紀人先生の漢文の授業に感化され、大学や大学院でも中国研究に励んだ。あの頃の多くの学生は欧米文化に傾倒していたが、彼は敢然と中国に的を絞っていた。そのことが、後年、中国との友好活動の一助になったのだ、と今更ながら思う。

九月十七日の葬儀には二千五百人を超える会葬者が別れを惜しんだと報じられた。しかし、七九歳は、まだまだ若かった。これからの故郷をじっと見守って欲しかった。

平成三十年秋
東京佐久会副会長 由井泰和

あの頃の思い出

映画とキラキラと

映像制作者

尹(平元)美亜(89回)

猛烈に仕事をして、疲れ果てて帰る夜、ふと見上げるとどんよりと白く濁った空。でも私の脳裏には高校時代に見上げた満天の星空がある。人混みが好きではないのにこんな長く東京で暮らしてこられたのは、いざとなったら帰る場所があると思えるからなのかもしれない。

高校時代は実家のある白田から北高まで自転車通っていた。田んぼの中の一本道。特に夜の帰り道が大好きだった。本当に星が綺麗で、流れ星を見ながら帰ったこともあった。校内で合宿したこともあったが、覚えてるのは夜の天体観測のことだけ。寒い冬の夜、お風呂上がり

にコートを着て外に出て、星を眺めてから一日を終えることもよくあった。こんなにキラキラと輝く星が、実は過去の残像で、数十年前、数百年そして幾千年前の輝きだと思つくと、心から興奮した。佐久にいた頃の思い出として真っ先に浮かんだのが「星空」というのも、何だかとても大雑把で申し訳ないようだが、市内であればどの星空が見えるというのは、やはり自慢にしていると思う。

もう一つ、高校時代の思い出として圧倒的にキラキラ感じられるのは、あの穏やかで自由な空気感だ。十代の多感な時期とは思えないくらい皆穏やかで、

ある意味大人びて、それぞれがやりたいことを、あまり人目を気にすることなくできる環境があったように思う。興味があることは人それぞれ違う。何をやって、それで人を傷つけた

り迷惑をかけたらしなければいい。その結果どうなるのかも自分で責任を取る。自由というか放任というか、そんな空気があったように思う。つまりは、授業をサボるのも自由だった、ということ。でも、やつぱりそのおらかさが人生における様々な好奇心と冒険心、そして独立心と責任感を育ててくれたのではないかと真面目に思う。学びの場は教室だけではない。物事の在り方から多くのことを感じて考えて吸収する場が北高という場所だった。

私は大学卒業後、広報の仕事を経て映画制作の世界に入った。そして今年、初めて監督したドキュメンタリー映画が劇場公開となったが、映画監督と呼ばれるのはあまりにおこがましい。実は映画監督になろうと思つたことは一度もない。どちらかというと裏方気質で、物事全般がうまく進むように取り仕切るプロデューサーの仕事が好きで制作に携わっていた。しかし不思議なことに縁があつて、私がやるしかないと感じて、私が監督をすることになった。最初は不安ばかりだったが、やるからには一生懸命やろう、ただそれだけで、東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島に通い始めたドキュメンタリーだから、撮影するのは一般市民の方々。震災で心に傷を負った方々とうまく接したらいいか、最初は緊張したが、いざ始めてみるととても自然な気持ちでその場にいることができた。それは多分に私が信州出身で、東北の風土と多

く共通するものを感じたからだと思う。特に福島県は山間部の川内村で撮影していたので、今となつては第二の故郷と思えるほど愛着を感じる。生まれ育つた故郷の自然風景や風の冷たさ、空気の匂い、こういうものはきつと無意識に染みついて、私の感覚の一部と化しているのかもしれない。

もう一つ、映画を作つて身に染みて感じたのは、同窓・同郷のありがたさ。高校時代の友人とはだんだんと疎遠になり、繋がっているのは数える程度、という寂しい状況が一変した。北高の田澤直人校長先生に初めて連絡をとると、一月五日の岳南会総会を紹介していただき、そこで出会つた(父の小学校時代の同窓生だという)井出亜夫さんが次々と様々な会を紹介してくださつて、大勢の北高OBの皆様と知り合うことができた。するとあ

ちこちらの要職に北高OBがおられるではないか! 皆さん立派な活躍をされておられることを知り、本当に嬉しく誇らしく思うと同時に、身が引き締まる思いがした。そして、お会いした多くのOBの方が、見ず知らずの私が作つた映画を応援してくれて、告知や動員に力を貸してくださつた。本当にありがたかつた。この場をお借りして、応援してくれた皆様



映画の一場面
福島県川内村の田んぼ



初監督映画
「一陽来復(いちようらいふく) Life Goes On」



仙台での舞台挨拶(左が筆者)



岐阜での舞台挨拶

うまく進むように取り仕切るプロデューサーの仕事が好きで制作に携わっていた。しかし不思議なことに縁があつて、私がやるしかないと感じて、私が監督をすることになった。最初は不安ばかりだったが、やるからには一生懸命やろう、ただそれだけで、東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島に通い始めたドキュメンタリーだから、撮影するのは一般市民の方々。震災で心に傷を負った方々とうまく接したらいいか、最初は緊張したが、いざ始めてみるととても自然な気持ちでその場にいることができた。それは多分に私が信州出身で、東北の風土と多

卒業30周年記念同窓会ご案内 (第84回卒)

◆日時 平成31年2月9日(土)
14:00 ~ 受付
14:30 ~ 記念品贈呈式典
14:50 ~ 記念同窓会

◆会場 佐久グランドホテル
佐久市中込 3-19-6
TEL: 0267-62-0031

◆会費 7,000円

◆実行委員(役員)
実行委員長 比田井和孝(2組)
実行副委員長 永岡正敬(2組)
会計 斎藤久徳(1組)



◆問い合わせ
実行委員会事務局長 川嶋光慈(3組)
TEL: 090-4399-4823
E-mail: kawas@basil.ocn.ne.jp

に心から感謝申し上げます。岳南会の価値は計り知れない。私が助けてもらった分、私も貢献できるようにになりたいし、我々より若い世代にその価値を伝えていきたい。高校時代の三年間を、あの場所であの空気を吸って、あのキラキラした時を共有して過ごした。その結びつきは思っていた以上に強い。これこそ北高生の財産であり、誇り。声を大にして伝えていきたい。

卒業五十周年記念同窓会開催



「good life」の発声でスタートしました。

高見澤岳南会長、田澤校長、小嶋岳南会事務局局長のご臨席を賜り、百十二名の同窓生が参加し、遠く沖縄から駆けつけた仲間もいて感激しました。恩師の中でただお一人ご健在である渡邊時夫先生もご出席いただき予定でしたが、急の用事で欠席され、残念でした。

去る十一月十日、佐久グランドホテルにて私たち第六四回（昭和四三年）卒業生の卒業五十周年記念同窓会が開催されました。亡き友への黙祷の後、平林敏良会長の「酒と薬を交互に飲み、これからの人生を楽しむ。Have a good time」の発声でスタートしました。

伝統行事の五十周年記念式を誰がリードするかと皆がそれぞれ様子を見ている時に、正月の岳南会総会で高見澤会長と田澤校長に「そろそろだね」とお声をかけられ、スイッチが入り準備を始めました。早速、正月明けに仲間へ声をかけることに苦勞しました。昨年の同窓会の幹事をされた先輩にアドバイス



をいただいていたようやく段取りが理解でき、岳南会会議室を利用させていただき、一月から十月まで計八回の委員会を開き、学校側とも打ち合わせをしながら進めてきました。コンセプトは、「記念講演なし、記念誌なし、できるだけ簡素化して皆からの貴重な寄付金を学校に送ろう！久しぶりに集まった仲間と楽しい時間を過ごそう！」としました。最終的に百八十六名の仲間から想定以上の寄付をいただき、電子黒板2セットと行幸用テント2張を母校に寄贈しました。

記念演奏会を吹奏楽班にお願いし、青春メドレーに酔いしれ、圧巻は西城秀樹のY.M.C.A.を全員総立ちで踊ったことでした。なかには演奏に感激して涙する者もありました。後輩たちにはお休み返上で演奏してもらいました。些少ではありますが会長よりお礼の言葉を添えて先輩からの志をお渡ししました。懇親会の締めとして、元野球部のキャプテンが、毎回自分たちのために応援してくれたことに感謝し、お礼の気持ちを込めて学生歌の指揮を執ってくれました。半世紀前の友達に楽しくなり、昔話に花が咲き、再会を約束しながらクラスごと二次会に流れていきました。

（実行委員長 橋詰希望）

平成30年総会報告

総会は、恒例の一月五日、佐久グランドホテルにて開催。冒頭挨拶は高見澤俊雄会長、続いて田澤直人校長の挨拶及び母校近況報告があり、共に、前年三月に県教委により提示された少子化対策のための「県立高校第二期再編計画」への言及が主となり時代の波の厳しさを実感する年明けとなった。

（議題）では、議長に金森輝雄桜井支部長（60回）及び駒込元万野沢支部長（60回）が就き、会務報告・決算報告及び監査報告・会務計画・会計予算が、順次、原案通り議決された。

（報告）では、会長より、改めて「県立高校第二期再編」への対応策が午前中の代議員会議で協議・議決されたことが報告され、再承認された。その方策は、県教委の「再編基本構想」で、母校が学年五学級の再編対象校に該当したことを受け、当面、中高一貫教育研究委員会で検討を始め、九月に公表予定の「再編実施方針」をみて、方策の再構築をすることをしたものである。

また、昨年十月、五年毎発刊の『岳南会会員名簿』上梓が報告され、協力への謝辞があった。

記念講演は、日本ペンクラブ第17代会長の吉岡忍氏（63回・大沢）により、演題「賢人に会ったー私の手を引いてくれた人達ー」のもと、若い頃から国の内外で出遭った多様な人達との心の交流を語られ、感動的だった。

続いて、母校吹奏楽班の華麗な演奏があり新春を楽しんだ。

新年会は、井出亜夫副会長の挨拶、柳田清二・佐久市長（85回・野沢）及び小泉俊博小諸市長（78回・三岡）による祝辞があり、伴野敬一氏（47回・野沢）が乾杯先唱し、百十余名参加の盛会の中で交歓。中締めも井出亜夫副会長が行い、結びとした。

岳南会総会のご案内

期日 2019年1月5日（土）
午後1時開会

場所 佐久グランドホテル 2階
(佐久市中込 2-19-6)

議事 会務・会計決算・予算 他
記念講演
(演題)
「再編を更なる飛躍の好機に」
～母校野沢北高等学校への期待～
(講師)
神津忠彦 (52 回卒)
東京女子医科大学名誉教授

○懇親会 (午後 4 時～)
懇親会費 6,000 円

関西岳南会 2019年度総会のご案内

日時 2019年5月25日（土）
詳細はホームページをご覧ください。
URL <http://gaku-suzu.info/>

会場 大阪東急REIホテル
〒530-0027
大阪市北区堂山町2番1号
Tel 06-6315-0109

総会 12時00分～

話題提供 未定
決定次第ホームページに掲載します

懇親会 14時00分～16時00分
《関西鈴蘭会と合同で開催します》

会費 5,000円(学生は優待:2019年卒業生は招待)

会長 井出千束56回(高12)S35年
副会長 三浦文夫56回(高12)S35年
々 佐塚 浩58回(高14)S37年
々 相馬 平60回(高16)S39年

連絡先 関西岳南会事務局
中井良策 090-4515-0770
E-mail:roy2234nakai@ares.eonet.ne.jp

東京岳南会 第58回総会のご案内

日時 2019年6月8日（土）
12:30～受付
13:00～総会 13:40～懇親会

会場 「アリスアкваガーデン銀座」
東京都中央区京橋3-7-1
相互館110タワー B1F
(銀座線京橋駅2番出口直結)
Tel 03-3567-8886

会費 6,000円
(学生は2,000円、新会員は招待)

当番幹事
80回(S59年卒) 81回(S60年卒)
90回(H6年卒) 91回(H7年卒)
100回(H16年卒) 101回(H17年卒)

連絡先 東京岳南会副幹事長
依田賢治 74回(S53年卒)
Tel/Fax:048-463-8584

岳南会中高一貫教育研究委員会

経過報告

『不易流行』は、蕉風俳諧の理念を表現する言葉として、広く人口に膾炙しています。その真意について芭蕉本人は詳しく語っていませんが、蕉門十哲の一、高弟の向井去来は、風尚（ときの好み）に従って新しさを求めて変化していくこと（流行）、それが俳諧の本質（不易）に他ならない、そのような解釈を披歴してきます。（『去来抄』「俳諧問答」）

新しい伝統を創造する力の源泉、その動的な姿がこの言葉には内在していると思えます。

さて、長野県教育委員会は去る2018年9月、『高校改革〜夢に挑戦する学び〜実施方針』（以下『実施方針』）を発表しました。その主旨は、昨年の本欄で紹介した『学びの改革 基本構想』と変わるところはありません。つまり、「思考力・判断力・表現力」を伸ばす「探究的な学び」の推進と、1学年6学級以上の募集を適正とする「都市部存立普通校」の再編統合です。

この間、本委員会では、『実施方針』の中に「併設型中高一貫校の評価を行い、多様な学びの場の一つとして記述する」よう求めてきました（『地域懇談会』「パブリックコメント」）、未だ実現に至っていません。

『実施方針』によれば、今後の議論は、2019年9月までに旧12通学区ごとに設置される『高校の将来像を考える地域の協議会』（以下『地域協議会』）が担うこととなります。この『地域協議会』は市町村長、市町村教育長、産業界代表で構成し、さらに地域振興局長、中高の地区校長、小中の地区PTAの代表を加えることが望ましいとしていきます。

本委員会では、佐久市内の「都市部存立普通校」（野沢北、野沢南、岩村田）の再編統合に適切に対応すると同時に、中高一貫教育を含めた魅力ある教育システムを構想することによって、今後母校をしつかりと支援していこうと決意しています。そのために先ず、これまでの研究成果と改革への思いを、『地域協議会』の構成員の皆さんに丁寧に説明し、理解を得ていく所存です。

いよいよ「新しい伝統を創造する」時が来ました。

岳南会の叡智を集め、佐久の未来を生きる子どもたちに求められる教育の姿と環境を具体的に考え、実現に向け行動していきたい、そのように願っています。

（中高一貫教育研究委員長 篠原 秀郷 65回）

平成30年 会務報告（総会1月5日以降、事務局把握分）

1月 5日(金) 第1回三役会・第1回代議員会 平成30年岳南会総会 於佐久グランドホテル 参加者約124名 記念講演 吉岡忍氏(63回) 日本ベンクラブ会長 演題 「賢人に会った」 ～私の手を引いてくれた人たち～	5月17日(木) 第2回三役会・岳南会所有林視察(9名)・ 慰労会(鶴寿司:12名) 5月19日(土) 関西岳南会開催(岳南会・鈴蘭会共同開催) 於:大阪東急REIホテル 出席者29名 会長・事務局出席	8月25日(土) 第2回代議員会・慰労会(三河屋) 9月 6日(木) 第1回役員改選委員会 10月 5日(金) 松本支部総会開催 出席者12名 会長・校長出席
1月24日(水) 長野支部総会開催 出席者46名 会長・学校 長・事務局出席	5月27日(日) 吹奏楽定期演奏会 ※小諸支部より花贈呈 6月 3日(日) 戦没者慰霊祭 会長・副会長・校長出席 6月 9日(土) 東京岳南会開催 於:アリス・アクア・ガー デン銀座 出席者74名 会長・校長・事務局出席	10月 6日(土) 第43回中高一貫教育研究委員会 10月11日(木) 第2回役員改選委員会 10月26日(金) 第3回役員改選委員会 11月10日(土) 64回卒「卒業50周年記念同窓会」 於 佐久グランドホテル 実行委員長:橋詰希望(小諸支部) 参観者115名
1月28日(日) 中込支部総会開催 出席者14名 会長・学校 長・同窓職員出席	6月15日(金) 佐久町支部総会開催 出席者20名 会長・校 長出席	11月12日(月) 第4回役員改選委員会 11月17日(土) 第44回中高一貫教育研究委員会 11月26日(月) 「岳南会一般会計」監査
2月10日(土) 東支部総会開催 出席者18名 会長出席	6月16日(土) 小諸支部総会開催 出席者33名 会長・校長・ 事務局出席	
3月 3日(土) 野沢北高校卒業式 会長・副会長 4名出席	6月23日(土) 岸野支部総会開催 出席者29名 会長・事務 局出席	
3月23日(木) 野沢北高校教職員送別会 会長・副会長 3名 出席	6月29日(金) 前山支部総会開催 出席者18名 校長・事務 局出席	
3月29日(木) 第40回中高一貫教育研究委員会	7月 2日(月) 軽井沢支部総会開催 出席者20名 会長・事 務局出席	
4月 4日(水) 野沢北高校入学式 会長・副会長 計3名出席	7月14日(土) 桜井支部総会開催 出席者22名 校長・事務 局出席	
4月 7日(土) 白田支部総会開催 出席者25名 井出副会 長・校長出席	7月22日(土) 第42回中高一貫教育研究委員会 8月11日(土) ~16日(木) 岳南会 野沢会館 岳南会員 53名 97作品 臨時三役会	
4月13日(金) 野沢北高校教職員歓迎会開催 会長・副会長 計4名出席	8月17日(金)	
4月14日(土) 小海支部総会開催 出席者18名 校長・事務 局1名出席		
4月21日(土) 八千穂支部総会開催 出席者10名 会長出席		
4月28日(金) 第41回中高一貫教育研究委員会(三河屋)		

会務計画(今後の予定)

1. 岳南会総会 平成31年1月5日(土) 佐久グランドホテル
2. 役員会 (年3回...5月, 8月, 12月)
3. 代議員会(年2回...1月5日, 8月最終土曜日)
4. 各支部総会(各支部ごとに計画)
5. 中高一貫教育研究委員会(年数回)
6. 会計監査(11月中旬)
7. 「岳南会ニュース」発行 含む協力金依頼(12月中旬)
8. その他「卒業記念同窓会」
:30周年(84回卒・85回卒), 50周年:(65回卒)

平成30年度 岳南会会計決算書

平成29.12.1~30.11.15

収入総額 11,871,621円 支出総額 7,499,226円 差引残高 4,372,395円

【収入の部】

単位:円

項目	収入 済額	備 考
入 会 金	1,230,000	6,000円×205人(平成30年4月入学生)
卒業生終身会費	980,000	5,000円×196人(平成30年3月卒業生)
総 会 会 費	534,000	6,000円×89人
事 務 費	300,000	岳南塾より事務職員人件費補助
岳南会館維持管理費	512,500	2,500円×205人(平成30年4月入学生)
進路指導支援費	512,500	2,500円×205人(平成30年4月入学生)
岳南会活動協力金	3,380,099	郵便局(1,461,900)・コンビニ(1,903,199)・現金(15,000)
繰 越 金	4,413,900	
雑 収 入	8,622	名簿代、百年史代、利息 等
合 計	11,871,621	

平成30年11月26日

会計監査 仁科英太郎 ㊟
篠澤 一平 ㊟
白井 正幸 ㊟

【支出の部】

単位:円

項目	支出 済額	備 考
会 報 発 行 費	1,930,143	会報印刷費、封筒印刷費、振込用紙印刷費、郵送料等
総 会 費	840,367	会場費、講師謝礼、懇親会費、総会案内用往復葉書等
役員会議費	197,971	三役会、代議員会、役選委員会、会計監査等
支部会議費	489,360	祝儀、旅費等
中高一貫教育研究会費	38,647	旅費等
慶 弔 費	361,887	祝儀、饗料、香典、弔電、卒業証書用筒、新入生校章バッジ等
財 産 管 理 費	105,699	固定資産税、山林管理費等
クラブ等後援費	240,200	1,000円×205名、全国大会補助、広告料等
進路指導支援費	600,000	進路指導室支援
岳南会館維持管理費	718,581	会館電気料、岳南会携帯電話料、会館補修費等
事 務 費	707,171	事務職員人件費、事務用品、葉書、封筒、切手等
予 備 費	1,269,200	会館工事費、岳南会関連書籍用書架等
合 計	7,499,226	

紙面の都合で、平成31年度岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

クラブ活動報告 (主な結果のみ)

運動班

●陸上
 <県大会>
 (男子)
 新海悠貴 400H
 並木久幸 3000m障害
 新海悠貴 三段跳 20位
 掛川晃都 円盤投 23位
 宮沢颯助 やり投 20位
 早坂・岩崎・高橋・新海 400R
 (女子)
 碓氷真子 1500m、3000m 18位
 青木涼香 100H
 三浦元海 400H 準決勝
 櫻井裕梨 走高跳 11位
 坂根輝音
 走高跳 24位、七種競技 15位
 林実玲 砲丸投 20位、やり投 6位
 梅田佳奈
 ハンマー投 9位、やり投 13位
 安藤あかり
 やり投 25位、七種競技 14位
 三浦・碓氷・青木・安藤 1600R
 <北信越大会>
 林実玲 やり投 19位

●剣道
 <県大会>
 (男子団体戦) 予選リーグ
 個人 井出裕隆

●ソフトテニス
 <総体県大会>
 男子団体
 1回戦 本校2-1下伊那農業
 2回戦 本校0-2長野俊英
 男子個人
 與良・栗林
 1回戦 本校2-4中下・木内
 (伊那弥生ヶ丘)

女子団体
 1回戦 本校0-3上伊那農業
 女子個人
 土屋・塩川
 1回戦 本校2-4後町・鈴木
 (上伊那農業)

木村・友野
 1回戦 本校4-2関・小見山
 (松本深志)

2回戦 本校0-4宮澤・西沢
 (長野商業)

清水・岡島
 1回戦 本校2-4佐々木・小菅
 (長野俊英)

●テニス
 <県総体>
 (男子)
 阿部・金井0-6松商学園 県ベスト16
 個人戦
 全日本jr(U16)シングルス
 1R 平林佑介6-1長野西
 2R 平林佑介1-6松商学園
 2R 猿谷知紀6-4伊那弥生
 3R 猿谷知紀2-6松商学園

ダブルス
 1R 猿谷・平林7-5才教学園
 2R 猿谷・平林0-6赤穂・二葉

●バスケットボール
 <総体県大会>
 (男子)
 本校66-73長野吉田
 (女子) ベスト16
 本校75-58松本第一
 本校50-86長野商業

●ハンドボール
 <総体県大会>
 (男子) ベスト8
 本校29-21松本蟻ヶ崎
 本校13-39長野南
 (女子)
 本校18-23木曾青峰

●卓球
 <総体県大会>
 (男子)
 団体戦
 本校1-3市立長野
 シングルス
 町田光平1-3長野商業
 北沢涼祐0-3松商学園
 原田響0-3長野工業

ダブルス
 北沢・原田1-3松本工業
 (女子)
 シングルス
 篠原真奈0-3須坂東
 ダブルス
 篠原・川村0-3長野商業

●バドミントン
 <総体県大会>
 (女子)
 団体戦 本校0-3大町岳陽
 ダブルス
 湯浅・白鳥0-2伊那弥生ヶ丘高校
 シングルス
 湯浅ももな1-2塩尻志学館高校

●弓道
 <総体県大会>
 (女子)
 団体戦 出場

●水泳
 <県大会>
 (男子)
 油井奎音 200mバタフライ 7位
 400mリレー
 白鳥惇也 50m自由形
 100m平泳ぎ
 400mリレー
 吉田全慶 100m自由形
 400mリレー
 佐々木涼輔 200m自由形
 油井奎音 100mバタフライ
 200mバタフライ
 400mメドレーリレー
 山本拓歩 200m自由形
 400m自由形
 中嶋駿 100m背泳ぎ
 200m個人メドレー
 400mメドレーリレー
 阿曾沼祐人 200m個人メドレー
 400m個人メドレー
 400mリレー
 400mメドレーリレー
 横山駿 100mバタフライ
 土屋 400mメドレーリレー
 (女子)
 小林萌笑 100mバタフライ3位
 200mバタフライ2位
 永原彩 100m背泳ぎ5位
 200m背泳ぎ7位
 高柳美礼 400m自由形
 800m自由形 出場

<北信越大会>
 油井奎音 200mバタフライ
 小林萌笑 100mバタフライ
 200mバタフライ 9位
 永原彩 100m背泳ぎ
 200m背泳ぎ

母校近況



文化班

●軽音楽
 <第26回長野県高等学校
 軽音楽系クラブ合同演奏会
 東北信大会Power Live 2018 TH>
 pollen
 (3年白田・片井・山岸) ベスト8
 県大会出場
 雑用係
 (3年内藤・原・佐々木・神崎・高橋)

AKASHI
 (3年内藤・黒澤・今井・花岡)

●吹奏楽
 <第58回長野県吹奏楽コンクール
 東北信地区大会>
 銀賞

●音楽班
 <長野県学校合唱大会>
 <全国高等学校総合文化祭合唱部門>
 出場



〈岳南会活動協力金〉 着実な納入へ御助力を！

冠省 ここ一兩年、左の文章
 を載せ、会員諸氏のご理解ご協
 力をお願いしてきています。

「岳南会収入は、毎年、
 (1) 新入生納入 一万一千円
 (2) 卒業生納入 五千円
 (3) 岳南会員協力金 千円以上
 (4) 繰越金 約三百万円
 で賄われ、少子化による学級減
 のため、平成二七年より毎年六
 四万円の収入減となっておりま
 す。赤字会計克服のため、続け
 てご協力を！」

この結果、平成二九年に続き、
 平成三〇年も、当面納入目標額
 (三百万円) を左記の通り、超
 え、感謝申し上げます。

〔参考〕〈納入金額〉
 平成二七年 一八二万円
 平成二八年 二二七万円
 平成二九年 三二〇万円
 平成三〇年 三三六万円

〈協力者数〉
 平成二七年 一五五〇人
 平成二八年 一九五五人
 平成二九年 一四一六人
 平成三〇年 一四〇三人

〈活動協力金 納入目標〉
 納付書送付 一五〇〇〇人
 協力者数 三〇〇〇人以上
 納入金額 三〇〇万円以上

しかし、現在、納入協力者は
 約一四〇〇人ですので、目標の
 ①三〇〇〇人以上のご協力②三
 〇〇万円以上の収入確保を継続
 するため、昨年採用のコンビニ
 での納入もご利用いただき、ご
 協力くださいますようお願いい
 たします。

(岳南会長高見澤俊雄)

事務局だより

岳南会活動協力金について

岳南会の活動は、毎年会員様
 から納入していただいている
 「岳南会活動協力金」が資金に
 なっています。

昨年より二種類の振替用紙
 (コンビニ用と郵便局用) を同
 封してあります。いずれも振込
 手数料は不要です。

ご協力いただける方はどちら
 かの振込用紙をご利用いただき
 ご入金ください。

なお、印刷代・発送代の高騰
 により「二千元以上の協力金」
 をお願いしています。何卒ご理
 解程をお願いいたします。

住所等の変更について
 お名前・住所等が変わられた
 方は、「住所等の変更手続き」
 をお願いしています。

方法につきましては、岳南会
 ニュースとともに同封しました
 鑑に「個人情報の変更について
 のお願い」の欄をお読みいた
 いただき、いずれかの方法で手続
 きをお願いいたします。

末永く「岳南会ニュース」を
 お届けするためにお願いしま
 す。尚、「岳南会ニュース」の
 発送及び「活動協力金」の業
 務は、(株)サラトに委託されて
 います。

編集後記

佐久の野にもいよいよ冬将軍
 が到来。多くの皆様のご寄稿と
 ご協力をいただきまして、ここ
 に「同窓会ニュース」第二九号
 を発行し、皆様のもとへお届け
 することができました。心より
 感謝申し上げます。